

市民説明会報告書

平成30年5月12日

会議の名称	志木市新庁舎建設基本設計市民説明会
開催日時	平成30年5月12日（土）14時30分～16時00分
開催場所	市庁舎 3階 301・302会議室
出席職員	総務部長 川幡浩之 新庁舎建設推進室 室長 青木裕一 新庁舎建設推進室 主席主幹 谷澤嘉弘 新庁舎建設推進室 主査 中森大史 新庁舎建設推進室 主事 中山晶太 建築開発課 副課長 成田樹哉 建築開発課 技師 神陽平
説明員	株式会社 佐藤総合計画 3名
参加市民	7名
概要	○開会 ○川幡部長よりあいさつを行う。 ○株式会社 佐藤総合計画より志木市新庁舎建設基本設計について説明を行う。 【質疑】 【質疑－1】 エスカレータ設置の議論について。 【回答－1】 慎重に議論を重ねた上で、コスト面から設置しないこととした。 【質疑－2】 災害対策における市の考え方について。 【回答－2】 新庁舎3階に災害対策本部機能を集約する計画としている。運営方法等については、担当課と協議・検討を進める。 【質疑－3】 新庁舎の耐震性及び耐用年数について 【回答－3】 耐震性は、免震構造や鉄筋鉄骨コンクリート造といった、現代の建築

技術を採用し、大地震に備える新庁舎とする。

耐用年数については、建物は長期間に使用出来る庁舎とするほか、時流による組織改編やニーズ等に対応可能となる庁舎を目指している。

【質疑－４】

地下駐車場への雨水注入の考え方について、また、冠水時に駐車場から出庫する際の所要時間について。

【回答－４】

詳細設計で想定雨量を算出した上で、設計を進める。また、現状の駐車場南側は、安全面を考慮した上で新庁舎においては催事や災害時の臨時的な出入口を想定しているため出入口は1か所となってしまうが、地下駐車場が冠水のおそれがある際には、北側に立体駐車場を建設する計画もあるため、そこへ一時避難可能となるように運用面等を含めた検討を進める。

【質疑－５】

新庁舎北側敷地における植栽帯の排水及び水勾配及びポンプの設置位置について。

【回答－５】

市庁舎敷地の集水枡から河川へ排出する設計である。ポンプの位置については、詳細設計において検討を進める。

【質疑－６】

北側の植栽帯における木の高さについて、また、見合いの考え方について。

【質疑－６】

詳細設計において検討を進める。

【質疑－７】

北側の住民に対する日影の配慮について。

【回答－７】

新庁舎を現庁舎の位置よりも南側に配置し、かつ4階北側をセットバックすることにより、日影を配慮している。

【質疑－８】

地盤改良等における液状化対策について。

【回答－８】

杭打ち及び地盤改良のほか、現庁舎の既存杭を残置することでより強固な地盤とする計画である。

【質疑－９】

地下から庁舎に進入する際の風よけ室について。

【回答－ 9】

風よけ室を設えて、気候等を考慮して開閉を行えるものを検討する。

【質疑－ 1 0】

E Vのサイズ及び設置個数について。

【回答－ 1 0】

東西にそれぞれ1か所設置して、サイズは詳細設計で検討を進めるが、バリアフリー等に考慮したサイズとする。

【質疑－ 1 1】

議場のガラス張りによるICT化への懸念について。

【回答－ 1 1】

南側が傍聴席側であること、窓の遮光性を高めることで問題ないと考えている。

【質疑－ 1 2】

新庁舎の延床面積について、併せて、既存庁舎の面積及びグランドテラスと新庁舎それぞれの面積について。

【回答－ 1 2】

基本設計概要版に明記のとおりである。新庁舎延床面積は11,000㎡、既存庁舎の面積が9,457㎡、グランドテラスが1,550㎡であり、新庁舎が11,000㎡の延床面積である。

【質疑－ 1 3】

市民ホールの進入方法及び隣接する飲食スペースについて。

【回答－ 1 3】

南側に出入口を設ける。飲食スペースについては、市民ホールの活用方法を含めて詳細設計で検討を進める。

【質疑－ 1 4】

吹抜けの防火対策について。

【回答－ 1 4】

災害時に自動防火するような想定をしているが、今後の詳細設計で検討を進める。

【質疑－ 1 5】

職員の休憩（昼食）時間の過ごす場所について。

【回答－ 1 5】

北東のリフレッシュコーナーを休憩スペースとして想定しているが、その他北側のサポートゾーンを開放することも想定している。今後運用は検討を進める。

	○閉会	以上
--	-----	----